

地域包括支援センター長森だより

いつまでも住み慣れたこの街で..

～こんにちは、あなたの街の地域包括支援センターです～



令和4年9月号

認知症について



誰でも年齢とともに、「もの覚え」が悪くなったり、人の名前が思い出せなくなったりします。こうした「もの忘れ」は脳の老化によるものです。しかし、認知症は「老化によるもの忘れ」とは違います。進行すると、「食べたこと自体を忘れている」など社会生活や日常生活に支障が出てくるようになりますが、身近な人の理解やちょっとした手助けがあれば、住み慣れた地域で暮らし続けることができます。身近な人が、「**もしかして認知症かも・・・**」と思うようなことがあれば、ご相談ください。

以前に比べて、家に閉じこもることが多くなったAさん

忘れる事が多くなり、イライラしています。出かけるのもおっくうになってきました。認知症になるかもしれないと心配です。

認知症の初期に、うつ症状を示すことがあります。また、閉じこもりが続くと認知症の進行・発症・体の筋力低下も心配です。早期の受診により適切な治療や生活支援を受けることで、症状が軽減したり進行を遅らせることができます。



忘れっぽくなり、身の回りの事に関心がなくなってきたBさん

離れて住む母が心配です。家の中は散らかりっぱなし、冷蔵庫の中に同じものがたくさんありました。

記憶力の低下により、何がどこにあるかを忘れてしまったり、計画的に物事を実行することが難しくなっているのかもしれませんが。福祉サービスの利用や地域の見守りなど、そばで声をかけたりサポートすることが大切です。



どこに受診したらいいの？

どんな接し方や声掛けをしたらいいの？

どんな福祉サービスが使えるの？

認知症の予防は、
どんなことをするの？



地域包括支援センター長森にご相談ください。相談は無料です。

地域包括支援センター長森 058-245-2855



認知症サポーター養成講座を開催しました

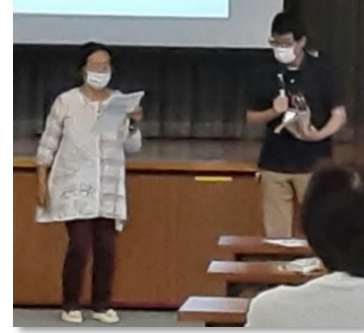
認知症サポーターとは認知症を正しく理解し温かく見守る地域の「応援者」です。

8月6日(土)長森コミュニティセンターにて地域の方に対して認知症サポーター養成講座を開催しました。DVD視聴、寸劇を交えてお話をさせて頂きました。認知症サポーター養成講座は、認知症の理解を深めたい方であれば、誰でも受講することができます。ご興味のある方は地域包括支援センター長森までお問い合わせください。



受講者さんの感想より

- ・ 現在一人で生活しているので、認知症にならないようにと思い回覧板をみて申し込みました。ありがとうございました。
- ・ 母の介助に役立てたいと思います。
- ・ 歌を覚えたり、軽い運動、散歩を無理ないところでやっていきたいと思います。



施設の入所権の詐欺にご注意ください



実在する企業名を名乗り「施設の入所権を譲ってあげて欲しい」などと持ち掛ける不審な電話がかかってきたという相談があります。このような電話は詐欺です。相手にせず、すぐに電話を切ってください。おかしいと思ったら、警察や消費生活センターなどに相談しましょう。

岐阜市消費生活センター 058-214-2666

岐阜市役所2階

平日の午前8時45分~午後5時30分

岐阜市地域包括支援センター長森

☎058-245-2855

〒500-8127 岐阜市塩町2丁目32

訪問・来所・電話などによる相談の受付

月曜日~土曜日(祝日・年末年始を除く)

開所時間 午前9時~午後5時

※ 開所時間外の緊急時の相談は転送電話で対応します。

交通のご案内

岐阜バス 東興町 下車徒歩10分

長森ふれあいバス 宝来町 下車徒歩5分

ホームページ

<http://www.gifuroujin.or.jp/chikihoukatsu>

